

安心と信頼、良質なてんかん・神経の包括医療

静岡てんかん・神経医療センター情報誌

平成30年 冬 第53号

あかり

A K A R I

看護師さんを
募集しています

- 当院井上有史院長がモンゴル保健大臣から名誉勲章を授与されました 1
- 学会QC発表を終えて ————— 2
- てんかんをめぐるアート展 ————— 3
- 平成30年3月 最新型3テスラMRI装置が当院に導入されます 4
- 病院フェア2017 ————— 6
- 平成29年度 市民公開講座 てんかんの講演と個別相談の会(横浜市) 6
- 外来再診の診療体制/医療連携室 ————— 7
- はじめて当院を受診される方へ/当院へのアクセス/本 8

当院井上有史院長が
モンゴル保健大臣から
名誉勲章を授与されました

静岡てんかん・神経医療センター



去る8月26日・27日にモンゴル・ウランバートルにおきまして、国際神経カンファレンス「INFO 2017-SLEEP DISORDERS & EPILEPSY(睡眠障害とてんかん)」が開催され、当院井上有史

院長が基調講演のため参加しました。

井上院長は、2002年からモンゴルを訪れており、今年の8月で8回目の訪問となりました。これまで訪問の都度、てんかんに関する講演や情報提供、診療助言等を重ねてきました。

この度、その訪問及び訪問時の活動が、モンゴル保健省にててんかん学の普及・啓発に貢献したと評価され、ツォグツェツェグ保健大臣から名誉勲章を授与されました。



証明書には、「Хүн ардын эрүүл мэндийг хамгаалах, дэмжих үйлсэд оруулсан хувь нэмрийг тань үнэлж Монгол улсын Эрүүл мэндийн яамны Хүндэт тэмдэгээр шагнаж үнэмлэх олгов.」



(訳：「国民の健康を守り、貢献したことを高く評価し、モンゴル国保健省の名誉勲章と証明書を贈ります。）」と書かれています。

また、勲章には、モンゴルの国旗にもある「ソヨンボ」が描かれております。「ソヨンボ」はモンゴル保健省のマークにも使われており、炎、太陽、月、槍、正直さ、魚、城が描かれており、それぞれ意味を持ち、モンゴル国民の自由や愛国心が表現されています。

当院では、これまでアジアの諸地域(ベトナム、インドネシア、モンゴル、中国、ネパール、バングラデシュ、

パキスタンなど)に出かけて技術指導を行う個別的な援助とともに、これらの国々を含むアジアの



諸地域から研修生を受け入れ、WHO、国際抗てんかん連盟、国際てんかん協会と協力して、てんかん医療の普及ならびに質の向上を目指した活動を行ってきました。この度の井上院長の名誉勲章受章は、その活動の一端を評価していただいたものですが、今後も可能な限り国際医療協力を続けて行きたいと考えております。

(管理課長 森谷 長)

学会QC発表を終えて

11月11日に第71回国立病院総合医学会が香川県高松市で開催されました。A2病棟は平成29年QC活動に於いて、東海北陸グループ特別優秀賞を受賞しました。今回はそのポスター発表を以下の内容で行ないました。

当病棟では、入浴動作に介助を要する患者が約95%を占める。ストレッチャー入浴患者約30名(うち人工呼吸器装着患者約10名)・車椅子入浴患者約10名と入浴介助に多くの人員と時間を要する。これまで10年以上、入浴担当看護師が入浴当日のスケジュールを立て、全患者の入浴介助を行なう入浴担当制を取っていた。

しかし、当日の患者担当看護師との連携が不十分なため、入浴後にスムーズな対応ができず患者を待



たせてしまうこと、早い時間からの脱衣によるリハビリテーションや検査時間

への影響・倫理的問題が発生していた。特に【待ち時間への配慮】が「少しできる・できる」と評価する看護師は全体の11%に過ぎなかった。また、入浴時の看護記録がほとんど記載されていなかった。

そこで入浴担当制を廃止し、デイパートナー方式を導入した。導入後3ヶ月後にアンケートを実施したところ、【待ち時間への配慮】が「少しできる・できる」と評価した看護師は合わせて100%となった。また、多くのスタッフからは「情報共有が行ないやすい」「責任を持って患者と関わることができる」等の肯定的な意見が多数得られた。従来の方法にとらわれず、病棟スタッフ間でよく相談して、新しい方法を実施することの効果が実感できた。

今後も、改善意欲を持って積極的に看護に取り組み、質の向上に努めていきたいと思ひます。

(A2病棟看護師長 井上 和世)



てんかんをめぐるアート展

昨年、当院の井上有史院長を大会長として日本てんかん学会学術集会を静岡で開催いたしました。その時に「てんかんをめぐるアート展」を開催いたしました。てんかんのある人で芸術的な才能を発揮した人は多く知られています。てんかんと向き合うことで生まれるアート、またはてんかんがあるからこそ生まれるアートがあるのかもしれませんが。その他に、てんかんのある人を支えることで生まれるアートもあるかもしれません。「てんかんをめぐるアート展」では、てんかんのある人、てんかんのある人を支える人から作品を募集し、最終的に150点余りを入選作として展示させていただくこととなりました。展示は学術集会と同時で3日間でありましたが、900名ほどの方にご来場いただきました。

本年の学術集会の大会長は、京都大学大学院医学研究科 てんかん・運動異常生理学講座教授 池田昭夫先生でありましたが、昨年に静岡でのアート展をご覧になり、本年も同様のアート展を行いたいと、「てんかんをめぐるアート展2017」を企画されました。本年は学術集会が京都で開催されたため、アート展の会場は京都大学総合博物館でありました。京都市立芸術大学の方々のご協力のもと、合計で80点ほどの作品が展示され、当院に通院されている方からの応募も多数ありました。会期は5日間でありましたが、1300名ほどの方にご来場いただいたとのことでもあります。

また、展示された作品のひとつに、多くのシールを貼って制作したものがありません。他に、てんかんのある人を支えることで生まれるアートもあるかもしれません。「てんかんをめぐるアート展」では、てんかんのある人、てんかんのある人を支える人から作品を募集し、最終的に150点余りを入選作として展示させていただくこととなりました。展示は学術集会と同時で3日間でありましたが、900名ほどの方にご来場いただきました。



大きなテントが設置されており、その中でシールの作品を制作している様子をビデオで紹介し、また体験できるようなコーナーもありました。

学術集会というと非常に堅苦しいものであります。しかし、同時にこのような企画が開催されますと、学術集会の参加者にとっては、少し堅苦しさが取れるのではないのでしょうか。また、改めて日常で診療しているてんかんのある人のことを別な面から考える機会になるかもしれません。このアート展が、国内の医師だけでなく海外の医師からも好評であったことは、「Epilepsy and Behavior」という海外の学術誌の表紙にこのアート展の作品を採用したいとの申し出があったことから伺うことができます。また、てんかんのある人にとっては、ご自身の作品を発表する自己表現の場になっているのではないのでしょうか。さらに、一般の方々にとっては、てんかんをより広く知るための啓発の場になっているのではないのでしょうか。この「てんかんをめぐるアート展」が来年、再来年とどうなっていくのかはまだわかりません。願わくばこのような企画が今後もなんらかの形で継続されることを期待しております。

(神経内科医長 寺田清人)

看護師さんを募集しています!

①常勤職員：病棟勤務 夜勤有り

②非常勤職員（外来、通所事業、病棟）

経験の少ない方、育児等でブランクのある方でも心配はご無用です。「じっくり患者様と関わりたい」「ゆとりのある看護をしたい」とお考えの方、ぜひ当院で働いてみませんか？相談、見学等随時お受けしております。お気軽に看護部長室までご連絡ください。

TEL ● 054-245-5446

E-mail ● kango-bu@shizuokamind.org

平成30年3月 最新型3テスラMRI装置が 当院に導入されます

今回は、放射線科の検査の1つであるMRIについて紹介します。

MRIとはMagnetic Resonance Imagingの略で磁気共鳴断層撮像装置と言い、磁石と電磁波の力を利用して、臓器や血管を撮像する装置です。放射線を使用しない検査ですので被ばくはなく、放射線の影響を受けやすい部位の検査も安心して行えます。体への影響がほとんどなく繰り返し検査を行うことが可能で、検査中はベッドに横になっているだけとなります。ただし、検査に支障の出る金属等のMRI室への持ち込みは禁止となっています。こういったものが持ち込みできないのかは問診票などに記載してありますが、不安な場合は診療放射線技師にお尋ねください。

当院のMRI装置は1.5TのMRI装置ですが、現在は3.0T、7.0TのMRIが登場しております。T(テスラ)とはMRI装置の磁石の力を表しており、この力が強いほど綺麗に、より鮮明に画像を得ることが可能です。



図a 3T-MRI装置

医療の進歩により様々な手法が日々研究・開発されています。近年ではMRI検査時における『騒音』を軽減させる技術が開発され、装置に搭載され始めました。

MRIの検査時は車のクラクションと同程度の激しい騒音が発生していましたが、最新の装置では、この騒音をほとんど発生させないで検査することが可能となり、特に高齢者や小児の患者様にかかる負担が軽減されています。

また、画像を作成する技術も日々進歩し以前と比べ高速・高画質で検査を行うことが可能となりました。

撮像技術だけでなく装置自身の構造なども一新され、トンネルの大きさが70cmのものが主流となり、昔の装置と比べるとかなり広くなりました。

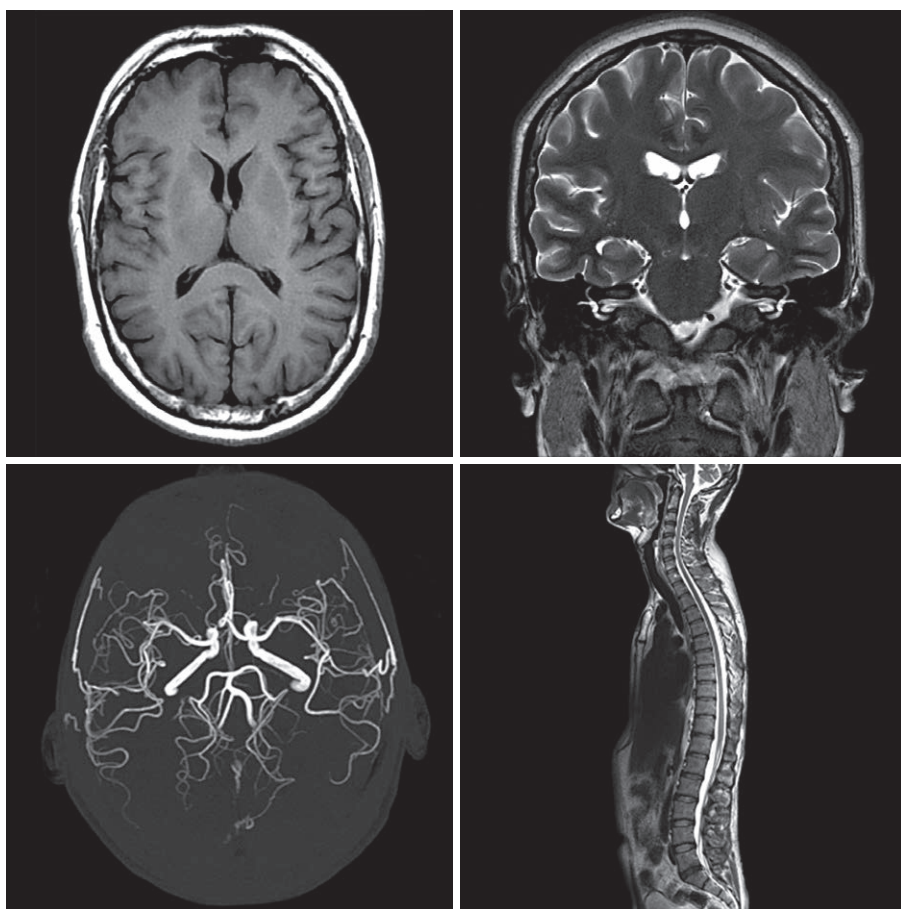
これらの装置の進化により、『騒音』・『閉所』・『検査時間長』といったデメリットが解消されつつあるため、昔は検査できなかった方でも検査できる可能性があります。

生年月日：昭和 年 月 年齢：	
氏名：	
記載者：	続柄：
記載日付：平成 年 月 日	
検査を出来るだけ安全確実にするため、下記の問診票にお答えください。 また、検査中はモニターにて安全確認をしながら行います。 下記の該当するものにレ印を記入して下さい。「はい」または「あり」と答えたかたは（ ） の中に具体的な言葉をお書きください。	
1) 今まで、何か手術を受けたことがありますか？	☐ はい ☐ いいえ
はいと答えた方へ いつ頃ですか（ ）	
どんな手術ですか（ ）	
2) 今まで、MRI検査を受けたことがありますか？	☐ あり ☐ なし
ありと答えた方へ いつ頃ですか（ ）	
3) 現在、妊娠している可能性がありますか？（女性の方のみ）	☐ あり ☐ なし
4) 閉所恐怖症がありますか？	☐ あり ☐ なし
5) あなたの身体の中に金属物が入っていますか？	☐ はい ☐ いいえ ☐ 分からない
はいと答えた方へ、下記の該当するものにレ印を記入して下さい。	
☐ 心臓ペースメーカー	☐ 心臓人工弁
☐ 消化管手術クリップ	☐ 動脈瘤クリップ
☐ インシュリンポンプ	☐ 避妊具
☐ 骨接合用金具・ワイヤー	☐ 経皮吸収貼付剤等
☐ その他金属を含むもの（ ）	☐ 人工関節 ☐ VPシャント ☐ 義眼

図b 当院問診票（一部）

当院にも平成30年3月に、最新型の3T-MRI装置が導入されます。MRI検査は苦手な方が多いと思いますが、体への影響が少なく病気の早期発見にも大きく貢献している検査です。一度受けてみてはいかがでしょうか？

MRIの画像について



図c MRI画像

上記画像は、MRI検査で得られる画像の一部を提示してあります。

MRIの検査ではいろいろな断面・コントラスト(色合い)の写真を撮像することで診断を行っています(検査に時間がかかる原因ですね)。さらに、3TのMRIでは1.5TのMRIと比べ、より鮮明に写真を撮像することができるようになりました。これにより、血管の写真はより細い血管まで造影剤を使用することなく撮像することが可能となりました。これは血管だけでなく、他の臓器等でも言えるため、今までわからなかったものが診断できるようになる可能性が広がりました。近年では、心臓などの常時動いている臓器なども綺麗に撮像できるようになっています。

(主任診療放射線技師 坂田 貴紀)

病院フェア2017

管理課長 森谷 長

去る10月28日(土)、早朝からあいにくの小雨模様のなか、病院フェア2017を開催しました。昨年度から、麻機遊水地フェスタの1ブースとして病院フェアを開催する方法にしましたが、麻機遊水地全体が台風21号による大雨で水量が増し、さらにその後の雨も重なり、当初予定されていた規模を大幅に縮小しての開催となりました。



集約された場所は、遊水地の文字通り地面はびしゃびしゃで、さらに雨は降り続く状態

でしたので、当院の病院フェア2017も予定を大きく変更し、最悪のコンディションの中でも来ていただいた子供達のために、「スーパーボールすくい」だけを催しました。9時から開催し、少しずつブースに寄ってスーパーボールを楽しくすくってくれる子供達が増え、気がつけば10名以上が水槽を囲んでいる時間もありました。

200人分以上が楽しめる景品を用意しておりましたが、途中から大盤振る舞いしてしまったため景品が底をつき、予定より1時間早い14時に終了させていただきました。

今回、こんな悪天候の中、ご来場いただきました皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

平成29年度
市民公開講座

てんかんの講演と個別相談の会(横浜市)

H29年11月26日(日)、横浜市(ビオラ市ヶ尾地域ケアプラザ)にて市民公開講座を開催いたしました。当院に通院されている方のご家族による「てんかんを知る会」が中心となり、当院、市ヶ尾カリヨン病院、日本てんかん協会神奈川支部が共催する形での開催となりました。当院では市民公開講座を各地で開催しておりますが、今回は患者様のご家族が主体となって運営されたもので、新しい形の市民公開講座となりました。また、今回の目的は、作業所などのスタッフにもっとてんかんのことを知っていただきたいというご家族の思いから開催されたものであり、てんかんのある方やそのご家族よりも施設のスタッフを主な対象としておりました。

企画当初はどれくらいの方にお集りいただけるのが未知数でしたが、ちらしを配布し、さらに「てんかんを知る会」の方々が宣伝活動をして下さったことから、事前申し込みだけで会場の定員である60名をオーバーする状況となり、当日は84名の方にご参加いただきました。

座長を日本てんかん協会の方をお願いし、講演の内容としては、第一部でてんかんの一般的な知識の紹

介として「てんかんの基礎」というお話を私がさせていただきます、

第二部では当院の臨床検査技師から「てんかん発作時の対応」として発作の時にどうしたら良いのかをお話しさせていただきました。それぞれ、ご参加の皆様が非常に熱心にメモをとりながら聞かれており、また講演後には質問も多く頂き、非常に盛況でありました。

また、講演後には個別相談会も開催しましたが、こちらも予定を超える相談者がおられ、会の必要性を改めて認識いたしました。

事後にアンケートをおこなったところ、いずれの講演も7割以上の方から「良かった」もしくは「とても良かった」とご評価いただきました。今後の講演希望については、薬物治療、食事療法、薬の副作用、日常生活、制度利用、併存症など様々なご希望をいただき、今後も繰り返し開催して欲しいとの希望もいただきました。

今後については未定であります、可能な限りご期待に添えればと考えております。

(てんかん科 寺田 清人)



外 来 再 診 の 診 療 体 制

てんかん科

午前の診療時間は8:30~12:00 午後の診療時間は13:00~16:30

	月	火	水	木	金
第1診察室		山 崎	中 岡	山 崎	白 井直
第2診察室	久保田英			久保田英	
第3診察室	今 井		井 上		近 藤
第4診察室		鳥 取	日 吉		日 吉
第5診察室	池 田仁	池 田浩	池 田浩	寺 田清	寺 田清
第6診察室	芳 村			芳 村	松 平
第7診察室		荒 木		美 根	山 口
第8診察室		西 田	高 橋		
第9診察室	重 松			大 谷	大 谷

神 経 内 科

	月	火	水	木	金
第10診察室	午前				
	寺田達				
	午後				
	小尾	小尾	小尾		小尾
第11診察室	杉浦	杉浦	寺田達	山崎/馬場國 尾内(第4)	

特 殊 外 来

転倒予防外来	随時	小尾
認知症疾患医療センター	月・水	寺田達・小尾
遺伝相談	随時	高橋、小尾
禁煙外来	随時	池田仁
ねむけ外来	月	寺田清
包括的てんかん外科初診外来	火	白井

再来診療は予約制です。予約が出来ない場合は午前中にお越しください。

医療連携室のご案内

医療機関間のコミュニケーションを円滑に行なうために、医療連携室(予約センター)を設置しています。ご利用ください。(平日)

TEL ■ 054-246-4580(初診)

054-246-1065(再診)

FAX ■ 054-246-4607

予約センターの受付時間

● 9:00 ~ 12:30 ● 13:30 ~ 17:00

E-mail ■ renkei@shizuokamind.org

当院では、脳波、筋電図、誘発電位、脳磁図、終夜ポリグラフ、CT、MRI、SPECTなどの検査が可能です。共同利用も可能です。
上記、医療連携室にお問い合わせください。

広 報 誌 編 集 委 員 会

編 集 人 ■

寺田 清人	佐藤 美喜子	坪井 千浩
矢嶋 隆宏	佐倉 裕二	松田雄一朗
堀 友輔	高橋 輝	鈴木 健之
大山 敏生		

発 行 ■ 平成 30 年 1 月 20 日

国立病院機構

静岡てんかん・神経医療センター

〒420-8688 静岡市葵区漆山 886

T E L ■ 054-245-5446

F A X ■ 054-247-9781

U R L ■ <http://www.shizuokamind.org>

E-mail ■ shizuoka@shizuokamind.org

はじめて当院を受診される方へ

◆診察は予約制になっています◆

1 受診のための手続きは…

予約は、ご本人・ご家族から当院地域医療連携室(054-246-4580)へ、あるいは主治医の先生から当院地域医療連携室へ申し込んでください。その際、ご本人の氏名・性別・生年月日・住所・電話・保護者氏名をお尋ねいたします。電話をいただきますと、その場で受診日を決め、折り返し当院からくわいし書類をお送りいたします。

2 緊急を要する時は…

受診日は病状に応じてできるだけ対応いたしますので、緊急を要する時はその旨をご連絡ください。

3 紹介状について

現在すでに病院へかかっておられる方は、主治医の紹介状があることが望ましいですが、なくても結構です。紹介状がない場合は別途費用(2,700円)がかかりますので、ご了解ください。病院からの資料もあれば望ましいですが、なくても結構です。

4 セカンドオピニオンについて

セカンドオピニオンもお引き受けいたします。

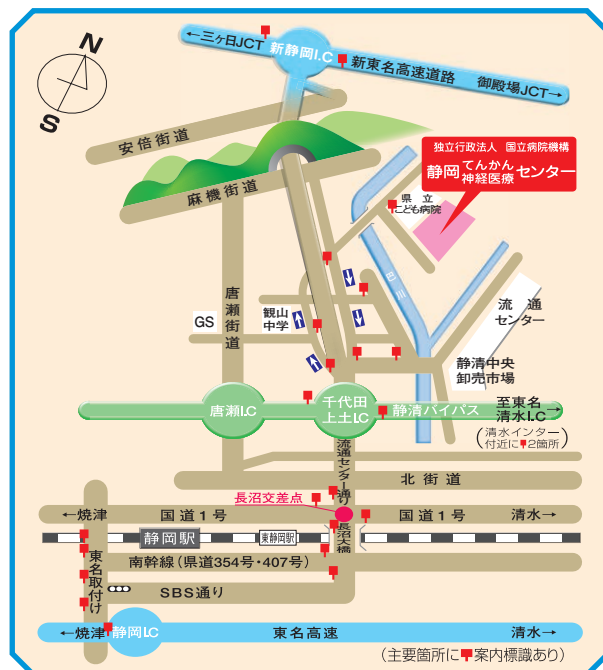
5 静岡市認知症疾患医療センターについて

認知症の受診やご相談は専門医療相談 ☎054-246-4608

当院へのアクセス

access

バスをご利用の場合	JR静岡駅前、北口バスターミナル5番線より静岡鉄道バスにて、こども病院線「67 こども病院・神経医療センター」行に乗車、終点の「静岡神経医療センター」で下車。全所要時間は約30分。片道料金は大人360円、小児180円。
タクシーをご利用の場合	JR静岡駅前(北口)より乗車。所要時間は約20分。料金は2,500円程度。
お車の場合	東京方面から - 東名高速清水インターより、静岡バイパスを静岡方面に向かい、千代田・上土出口から流通センター通りを北へ約3分。所要約20分。 - 御殿場JCTで新東名高速道路へ乗換。新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。
	名古屋方面から - 東名高速静岡インターより、国道1号線を清水方面に向かい、長沼交差点を左折、流通センター通りを北へ約10分。所要約30分。 - 新東名高速道路・新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。



本

BOOK

●抗てんかん薬ポケットブック(改訂第6版)

【日本てんかん協会、2016年】

禁忌、重大な副作用、重大な副作用疾患別症状、体内動態と主な副作用、相互作用、抗てんかん薬プロフィール、新規抗てんかん薬の開発状況、Q&A、識別コード(錠剤のみ)を掲載。

●稀少難治てんかん診療マニュアル

～疾患の特徴と診断のポイント～

【診断と治療社、2014年】

稀少難治てんかんの特徴と診断のポイントから、検査、治療、予後まですぐに概要をつかめるよう約3～4ページにポイントを絞った。発作時の脳波図、発作の鑑別フローチャート、鑑別疾患を比較した表をレイアウトし、視覚的に分かりやすく稀少難治てんかんを解説した。診断、治療のマニュアルの項目の冒頭には短く「ポイント」をまとめた。稀少難治てんかんにかかわる小児科医、神経内科医、脳神経外科医などに役立つ書。

●てんかん症候群(第5版)

～乳幼児・小児・青年期のてんかん学～

【中山出版、2014年】

てんかん学の「ブルーガイド」として世界的に普及している「Epileptic Syndromes(原書第5版)」の日本語翻訳版です。4版よりも10%以上ボリュームが増え、より詳しい内容になり、他では決して得られない極めて貴重なてんかん発作の動画付き。静岡てんかん・神経医療センターのスタッフが総力をあげて翻訳しています。

●てんかん専門医ガイドブック

～てんかんにかかわる医師のための基本知識～

【診断と治療社、2014年】

てんかん専門医試験を受験する医師のみならず、てんかんにかかわるすべての医師必携のガイドブック。概念や分類、病因、診断、検査、治療などの総論から、新生児から高齢者まで各年代別の重要なてんかんや遺伝子研究結果に基づく特殊てんかんの最新知識、外科治療などを解説した各論に続き、妊娠、運転、生活支援についても具体的に紹介。臨床てんかん学の内容をコンパクトにまとめた実践的な一冊。

てんかん情報センターのご案内

てんかんに関するさまざまな情報を集積したセンターが外来棟1階にあります。どうぞご利用ください。次の活動を行っています。

- 1 てんかんに関する書籍・雑誌・ビデオなどの閲覧・貸し出し(自己学習)
- 2 ホームページによる情報提供 <http://epilepsy-info.jp/>
- 3 てんかん協会との連携
- 4 医療などの相談(予定)